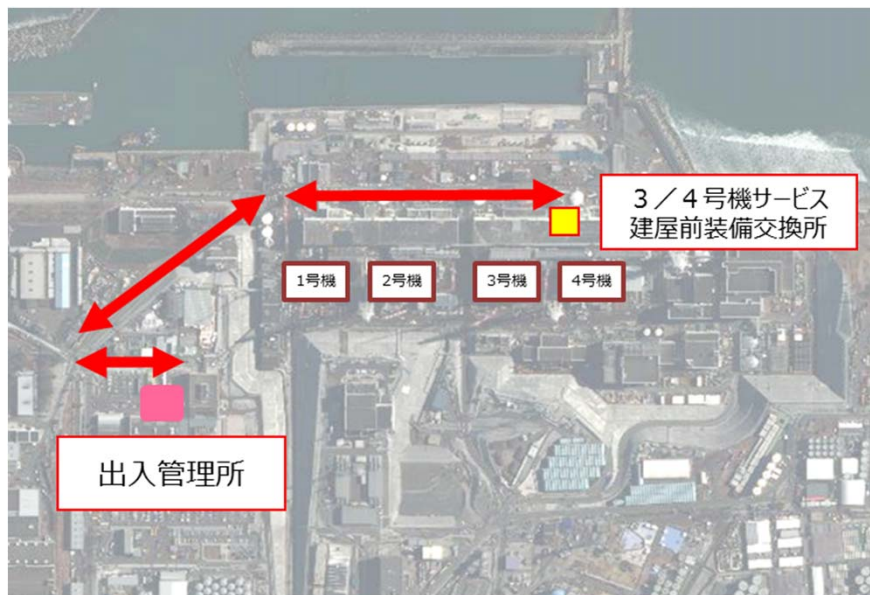


福島第一原子力発電所

協力企業作業員におけるAPD・蛍光ガラス線量計不携帯について

< 参 考 資 料 >
2020年11月5日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 本日（11月5日）午後1時37分頃、協力企業作業員が作業終了後、3／4号機サービス建屋前装備交換所から1～4号機出入管理所へバスで移動した際、警報付ポケット線量計（APD）と蛍光ガラス線量計を不携帯であったことが判明しました。
- その後、当該作業員は、警報付ポケット線量計（APD）と蛍光ガラス線量計を3／4号機サービス建屋前装備交換所にて発見し、入退域管理棟から通常通り退域しています。
- 当時の状況を確認したところ、装備交換所で着替える際に外したAPD・ガラスバッジを棚にかけ、退出する際におけるAPDと蛍光ガラス線量計着用の相互チェックを実施しておりませんでした。
- 今後、APD・ガラスバッジを置き忘れた経緯等、詳細を確認し、再発防止に努めてまいります。
- なお、入域から作業終了までの間においては、APD・ガラスバッジを適切に携帯していたと報告を受けています。



【APD値・汚染状況】

APD値:γ 0.56mSv※

β 0mSv※

汚染 :無し

※不携帯で移動した被ばく線量について今後評価予定

図. APD・ガラスバッジ不携帯で移動したルート